

第7回 長安ロダム改造事業費等監理委員会

第6回委員会での主な意見と取り組み

平成26年9月

那賀川河川事務所

【第6回委員会（平成25年度）における主な意見と取り組み】

前回の委員会でいただいた以下の主な2つの意見に対する、当事務所の取り組みについてご紹介します。

(1) 事業費の平準化と一層のコスト縮減に努めること

- 堆砂除去の有効活用に努め一層のコスト縮減に努める
- 今後実施予定の洪水吐新設工事後に事業費レビューを実施

(2) 事業実施内容を含め戦略的な広報を実施し、より一層の県民等の理解の向上に努めること

- 長安ロダム事業における広報の状況
- 長安ロダム水源地域ビジョン策定に向けた取り組み状況

(1) 事業費の平準化と一層のコスト縮減に努めること

○堆砂除去の有効活用に努め一層のコスト縮減に努める

堆砂除去工事などの土砂処理を、自治体が行う土地造成工事などへ、可能な限り近隣工事への積極的活用を行うことで処分費用のコスト縮減に努める。また、今後地域との連携や環境に配慮し、有効活用を行うことで更なるコスト縮減に努める。

○本体工事の進捗状況を把握し、コスト縮減実績をとりまとめる

長安口ダム改造事業において、実施された“コスト縮減対策(設計面・施工面)”を総括的に整理し、事業費レビューを行う。

- ・事業費において、当初と実施について整理を行う。
- ・コスト縮減策を設計面・施工面に抽出し、縮減効果の整理を行う。
- ・現行事業費の妥当性について検証を行い事業費レビューを行う。

※改造事業の最終項目工事である、今後実施予定の洪水吐新設工事発注後において事業費レビューを行い、事業費等監理委員会で説明を実施。

(2) 事業実施内容を含め戦略的な広報を実施し、より一層の県民等の理解向上に努めること

○長安口ダム改造事業広報活動

平成26年	4月	5月	6月	7月	8月
各月見学者数(人)	49	78	39	58	46



なかがわ探検バスツアー写真(貯水池内構台上)



中之島小学生ダム見学写真(右岸構台上)



阿南高専生ダム見学写真(監査廊内)



愛媛大学生ダム見学写真(ダム操作室)

(2) 事業実施内容を含め戦略的な広報を実施し、より一層の県民等の理解向上に努めること

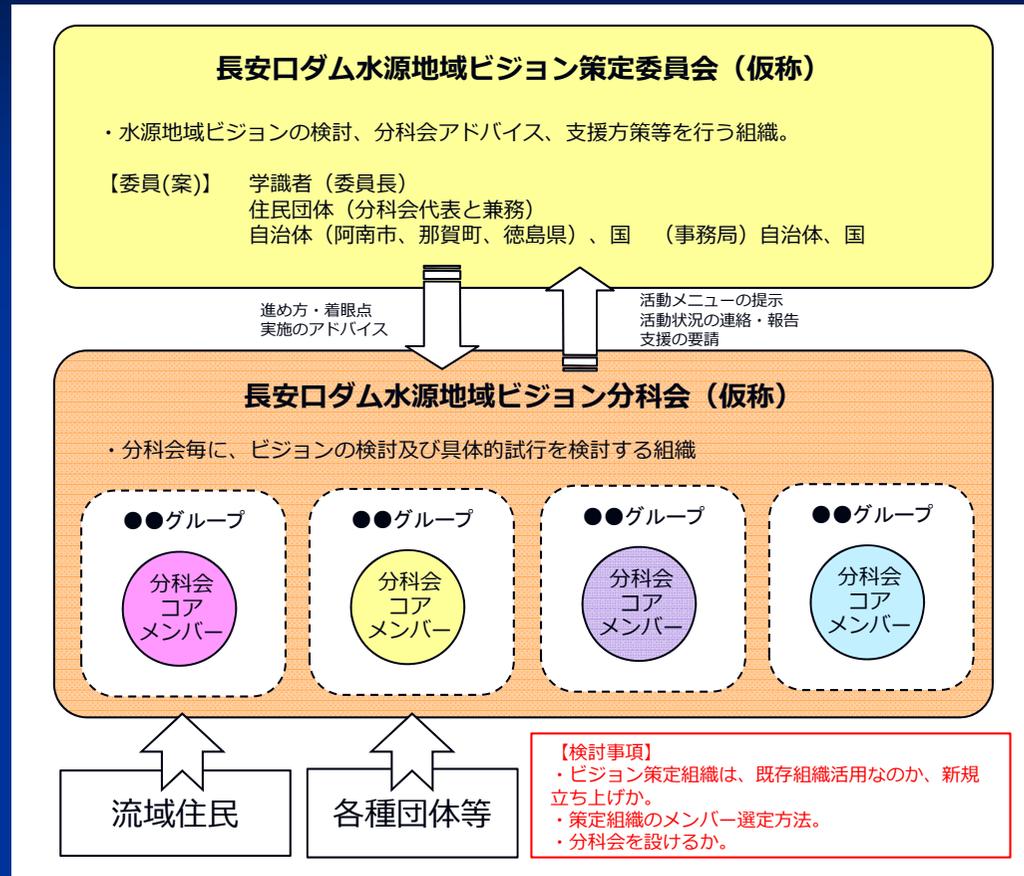
阿南市・那賀町等流域の自治体と、住民団体、ダム管理者である国土交通省が連携して「水源地域ビジョン」を策定し、観光面にも役立てた取り組みを進める。

水源地域ビジョンとは

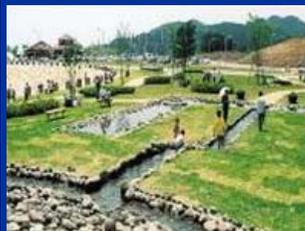
ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的とする、水源地域活性化のための行動計画。

ビジョン策定の進め方

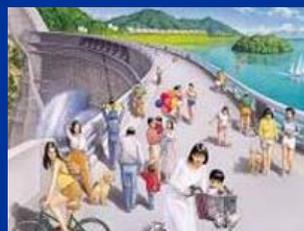
「ビジョン分科会」において個別の具体的な施行メニューを検討し、「ビジョン策定委員会」に提示する。策定委員会では、各分科会の意見を統合してビジョンの基本方針等を策定する。



「水源地域ビジョン」を策定後はそれぞれのメニューに基づき、ビジョンの推進を図る。



①親水空間の整備



②ダムの開放



③ダム湖の利活用促進



④体験学習



⑤上下流交流



⑥地場産業の育成